

公益社団法人私立大学情報教育協会
平成27年度第1回 基本調査委員会 議事概要

I. 日 時：平成27年5月2日（土） 11：00から17：30まで

II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局会議室

III. 参加者：真鍋委員長、尾崎委員、今井委員、高木委員
今泉アドバイザー、島貫アドバイザー
事務局：井端事務局長、森下主幹、藤江（記）

IV. 資料

① 平成26年度版 私立大学情報環境白書（案）

参考 1 平成23年度私立大学情報環境基本調査 調査票

参考 2 平成23年度私立大学情報環境白書

V. 議事内容

1. 平成26年度版 私立大学情報環境白書（案）内容の確認及び校正について

資料①「平成26年度版 私立大学情報環境白書（案）」の内容について検討を行い、表現等の修正を行った。

主な修正点は以下の通り

(1) 調査の概要

回答状況の回答校数を280校に修正

(2) 「教育の質的転換を目指した教育・学修支援環境の点検」 9. 大規模オンライン講座（MOOC等）の利用・配信

⇒ 大規模オンライン講座への講義配信状況について、「世界に通用する優れた教育の出現が期待される。」を「世界に通用する優れた講義の配信が期待される。」に修正。

(3) 「情報環境として備えるべき施設・設備、セキュリティ点検」 3. コンピュータ等の整備及び、5. 教室のマルチメディア化記載の集計表の修正。

⇒ 「合計」、「1大学あたり」の欄を削除して凡例として記載することとし、「項目」を「大学種別」に変更した。

また、5. 教室のマルチメディア化の本文にある「データ編」の記載に関し、本資料におけるデータ編の場所が特定できるように追記。

(4) 「情報環境として備えるべき施設・設備、セキュリティ点検」 7. 情報セキュリティに関する関心度について

⇒ 情報セキュリティの責任体制において、「3年後は、大学法人の情報資産や金融資産のリスク管理の重要性に鑑み、経営執行部自らの取組みが大幅に増えていることがうかがえる。」を「3年後は、大学法人のリスク管理の重要性に鑑み、経営執行部自らの取組む大学が3割近くに増えていることがうかがえる。」に修正

(5) 「教育の情報化ランキング」及び「平成26年度私立大学情報環境調査」については、表紙を挿入し、本資料の末尾に添付することとした。

2. 特色ある事例の紹介について

事例の校正を各委員で分担して行うこととなった。

※「eラーニングと反転授業の取組み」は校正済み。

アクティブ・ラーニングの取組み	真鍋委員長
ラーニング・コモンズの整備と活用	
情報通信技術（ICT）を活用した学外連携	尾崎委員
全学的な教学マネジメントに向けた情報通信技術（ICT）の利活用	今泉アドバイザー
学修ポートフォリオシステムの利活用	
学生カルテの利活用	島貫アドバイザー
全学的なFD支援体制の構築と支援体制	

3. 今後の予定

- ① 担当の各委員には5月7日までに特色ある事例を校正いただく。
- ② 事例の提供をいただいた大学に最終稿を確認する。
- ③ 平成26年度版「私立大学情報環境白書」を5月13日の理事会に報告。
- ④ 印刷し、5月29日の定時総会で報告する。

4. 次回の日程

本年度の委員会は平成26年度版「私立大学情報環境白書」を持って終了とし、以後の委員会については別途案内する。

以上